

科名

外科

対象疾患名 がん化学療法後に増悪したBRAF遺伝子変異を有する治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸がん

プロトコール名 アービタックス+ビラフトビ+メクトビ(2回目以降)

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	2	3	4	5	6	7
1	点滴注	メイン	生理食塩水	500mL	ルートキープ	↓						
2	点滴注	側管	生理食塩水	50mL	30分かけて	↓						
			デキサート注	6.6mg								
			ネオレスタール	10mg								
3	点滴注	側管	アービタックス	250mg/m ²	医師の指示通り	↓						
			生理食塩液	250mL								
4	内服		ビラフトビ		1回300mgを1日1回連日経口投与							
5	内服		メクトビ		1回45mgを1日2回連日経口投与							

★1クール＝7日

～MEMO～

催吐レベル2(30～10%)

BRAF変異陽性を確認し使用すること

網膜障害、ブドウ膜炎等の眼障害が約25%の患者に出現するので眼症状に注意し、出現時は眼科にコンサルトすること。

〈アービタックス〉

- ・ アービタックスの初回投与量は400mg/m²を2時間かけて、2回目以降は250mg/m²を1時間かけて点滴静注する。
- ・ アービタックス投与中及び投与終了後少なくとも1時間はバイタルサイン等をモニタリングする。
- ・ アービタックス投与前後は生食でフラッシュすること。
- ・ アービタックス終了後、1時間ルートキープにて休薬する。